

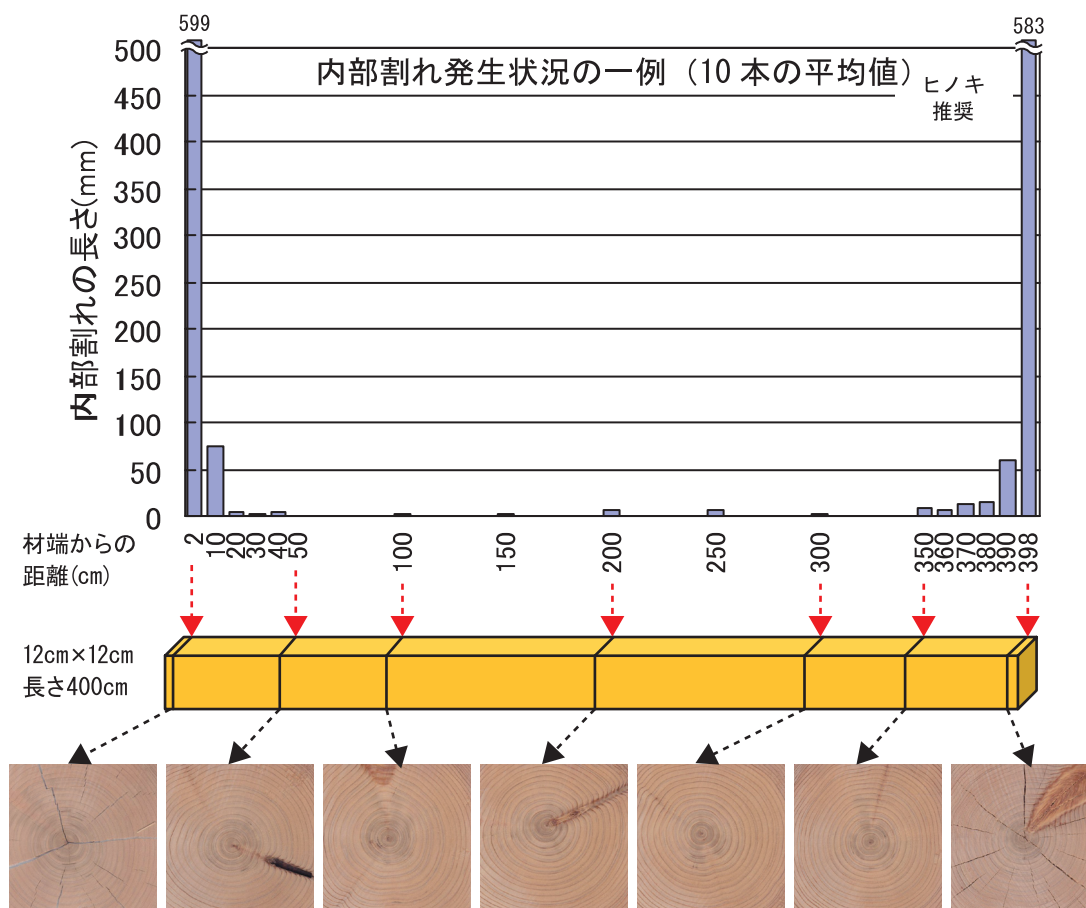
(3) 熱風減圧併用式 ②ヒノキ (120mm正角)

• 推奨乾燥条件 •

推奨乾燥スケジュール

ステップ	乾球温度(℃)	圧力(kPa)	時間(h)	備考
①	92	常圧 (101)	8	蒸煮
②	110	71	18	高温セット 沸点: 90℃
③	80	39	18	乾燥 沸点: 75℃
④	70	20	75	乾燥 沸点: 60℃ (注)

注：平均初期含水率45%のヒノキ正角（135mm角、長さ4m）を12%まで乾燥した場合



• ポイント解説 •

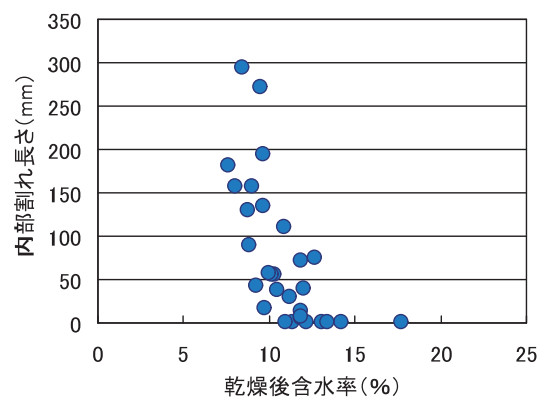
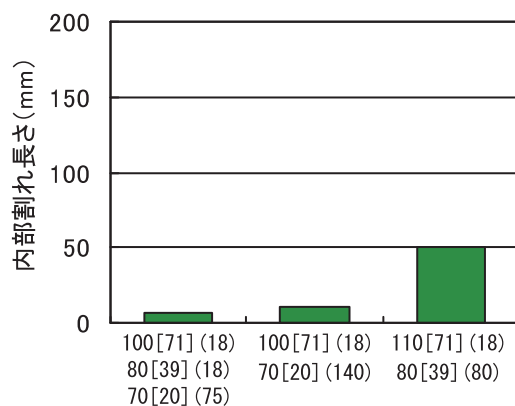
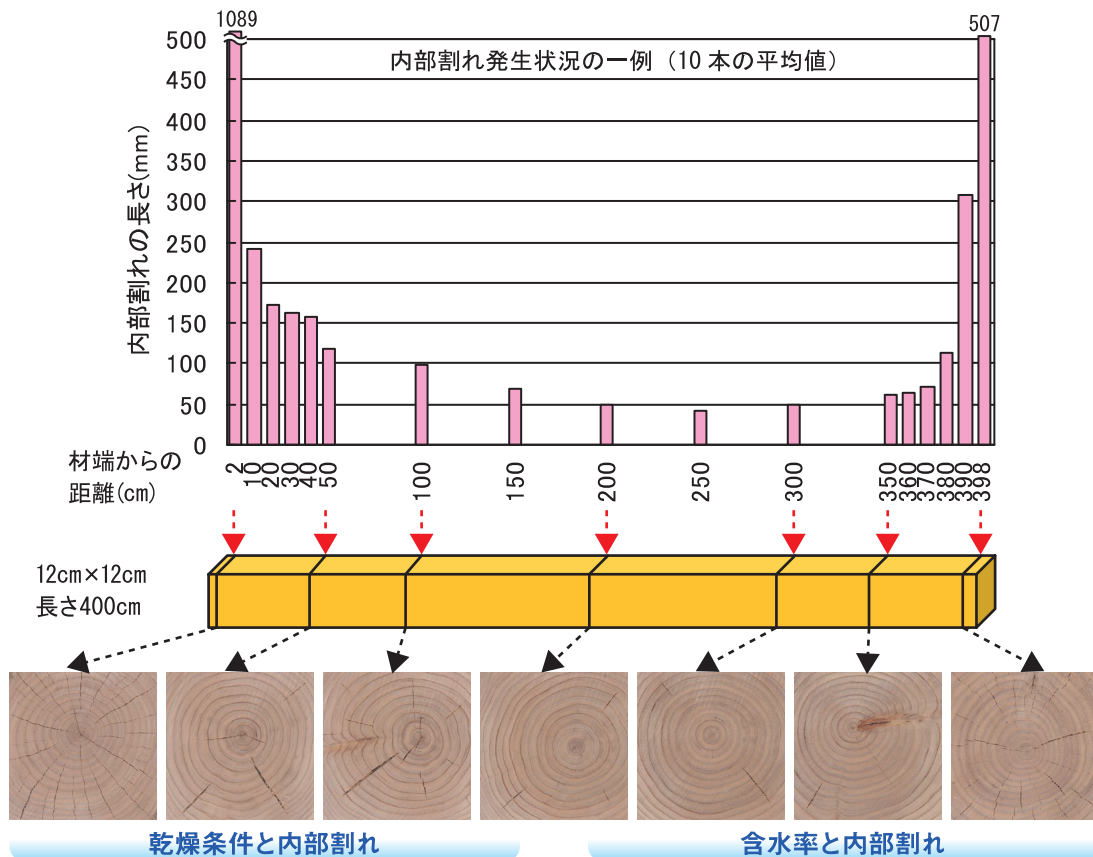
ヒノキの心持ち無背割り正角を乾燥するスケジュールは、①蒸煮、②高温セット、③④乾燥の4つのステップから構成されます。一般には②以降のステップで減圧を併用します。高温セット後は、段階的に乾球温度を下げることで、より内部割れの発生を抑えることができます。

参考資料

内部割れの発生が多い乾燥スケジュール例

ステップ	乾球温度(℃)	圧力(kPa)	時間(h)	備考
①	92	常圧(101)	8	蒸煮
②	110	71	18	高温セット
③	80	39	80	乾燥(注) ← 乾球温度が高すぎる!!

注：平均初期含水率45%のヒノキ正角（135mm角、長さ4m）を13%まで乾燥した場合



ポイント解説

ヒノキは内部割れが発生しにくい樹種ですが、②のステップが長すぎたり、③の乾球温度を高くしすぎたり、時間を長くしすぎると内部割れが増加する傾向にあります。また、過乾燥になってしまうと内部割れが増大します。

乾燥の必要性

乾燥方法の解説

推奨乾燥条件

内部割れの評価

生産性向上

Q & A

用語の解説